

都道府県金融広報委員会の活動紹介

大盛況！ 親子見学会

山梨県金融広報委員会

当委員会は、日本銀行甲府支店に事務局を置いています。そこで、同支店と共催で、金融教育のワークショップを取り入れた「にちぎん親子見学会」のほか、日銀支店見学会と講座をセットメニューとした「知るぽると塾」を毎年開催しています。今年の夏休みは、日銀職員の協力

のもと、計11回の「親子見学会」を実施しました。模擬一億円の重量体験や、ルーベなどを使ってお札の秘密について確認していただいたほか、小学生には、「おこづかいゲーム」を通じて「本当に必要なものは何か、欲しいものとどう違うのか」など、自分のお小遣いを考えて使うことを親子で体験していただきました。中学生には、さまざまな悪質商法の事例と対処方法を「悪質商法対策ゲーム」で楽しみながら体験していただきました。

一般の方を対象とした「知るぽると塾」では、「ライフプランとファイナンシャルプラン」、「家は買うもの？借りるもの？」、「長寿に備える」といった講座を今年度は7回実施します。既に受講された方からは、「これからの生活に役立つ内容だった」、「判り易い講座を催していただき気軽に参加できてよい」との感想が聞かれ大好評でした。

今後「親子見学会」や「知るぽると塾」を通じて大勢の方に、「山梨県金融広報委員会」を身近に感じていただきたいと思います。

出張講座を 行っています

広島県金融広報委員会

現代社会には、お金や金融に絡むさまざまな情報が溢れ、ときには危険な情報も紛れ込むようになっていきます。こうした中、多くの学校では、子どもたちに金融の基礎知識や知恵、ルールなどを学ばせる必要性を感じつつも、実際にどう教えたらいいいのか、戸惑いの中にあるケースが多いようです。このような声を踏

まえ、当委員会(事務局・日本銀行広島支店)では、昨年来、金融(金銭)教育研究校に名乗りをあげた学校に対し、最寄りの金融広報アドバイザーを派遣し、年間スケジュールの作成から毎回の授業内容に至るまで、マン・ツー・マンで継続して指導に

視点から、「生きる力」を養うことに注力しています(写真は授業風景のひとつです)。

当たるとしています。金融教育というやや堅い響きがありますが、実際には、労働の意味から始まり、そこから得る給与と消費や貯蓄、そしてお金の運用や借入、保険や年金問題などの意味・背景の解説など、「社会生活と関連付けた肌触り感のある授業を通して、幅広い

金融商品の解説から生活設計に至るまで、地域住民の生活に役立つ講義・広報活動を展開しています。また、こうした活動の一層の充実と効果発現を図るうえで一つのステップとして、22年2月、広島市にて金融広報中央委員会、広島県金融広報委員会主催による金融教育フェアイベントが開催されることとなっています。

